

カナダが予想外の利下げ

2015年1月22日

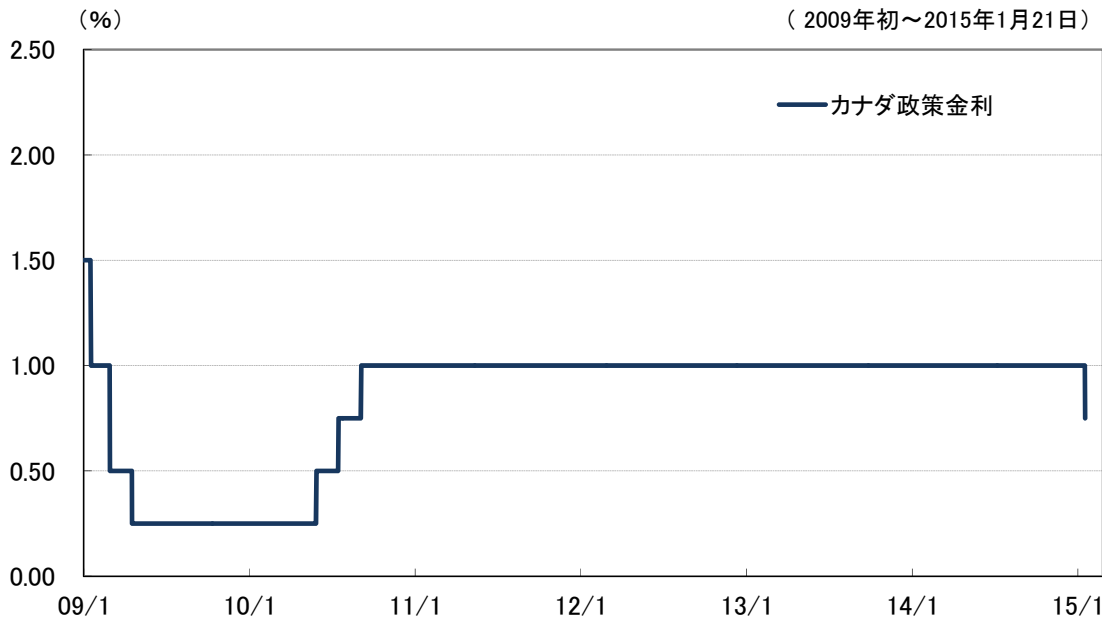
<予想外の利下げ>

カナダ銀行(中央銀行)は1月21日(現地、以下同様)、政策金利(翌日物金利の誘導目標)を0.25%ポイント引き下げ0.75%にすると発表しました。声明文では、原油価格急落が経済成長とインフレに与えるネガティブな影響への対応のための利下げ決定としています。カナダでは、2010年6月、7月、9月に各0.25%ポイントの利上げが続けて実施された以降は、政策金利は据え置かれていました。

カナダ銀行は2014年10月の政策金利発表時に、将来の金融政策の方向性についての意見を表明することを差し控え、経済環境の変化により柔軟に対応する姿勢を打ち出していました。今回の政策金利発表と同時にカナダ銀行は四半期に一度発表する金融政策報告書を公表し、2015年の成長率の見通しを2.1%に引き下げ、消費者物価の前年同月比が2015年中にインフレ目標の下限(1%)を下回るとの見通しを明らかにしました。

今回の利下げは市場が予測していなかったため、カナダ・ドルは下落して反応しました。対米ドルでは、一時1米ドル=1.24カナダ・ドル付近まで下落、対円では一時95円近辺まで下落しました。

カナダの政策金利の推移



(出所:ブルームバーグ)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

<原油価格下落への緊急対処>

原油輸出国では、2014年12月11日にノルウェー中央銀行が今回のカナダ銀行同様に予想外の利下げに踏み切りました。また、2015年に入るとSNB(スイス国立銀行)の利下げや、ECB(欧州中央銀行)の国債購入策への期待が高まるなど、一段と金融緩和策が拡がりを見せています。原油価格の下落によりもたらされるインフレの下押し圧力が、各国の金融政策の調整を促している格好です。

一方で、カナダ銀行が金融政策報告書で公表したインフレ見通しは、2015年について大きく下方修正されたものの、2016年については従来の見通しを維持しました。また、経済成長についても2015年上半期の成長は巡航速度以下の水準に落ち込むとする一方で、今回の利下げによる景気浮揚効果や、米国経済が堅調であること、対米ドルの安い為替水準などにより、下半期以降はインフレや成長は回復軌道に戻るとの見通しとなっています。

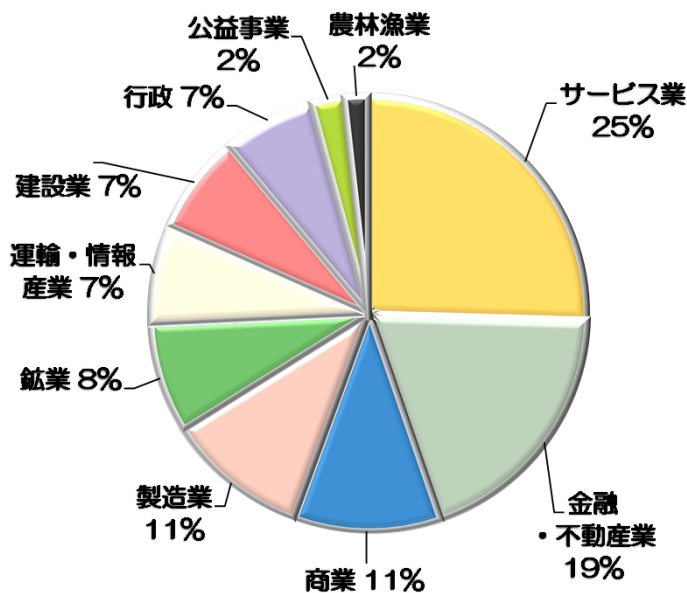
<今後の見通し>

カナダ銀行は、製造業などエネルギー関連産業以外の産業については、外需の拡大や雇用、景況感のマインド改善を指摘しています。カナダのGDP(国内総生産)構成におけるエネルギー関連産業の比率は10%以下に過ぎず、利下げ効果でその他の産業の活動が刺激されることで、経済全体の安定が保たれることが見込まれます。その意味でも、今回の利下げは原油安の悪影響を一過性のものにとどめる予防的なものと考えられます。

利下げ後の記者会見で、ポロズ総裁は今後も柔軟に金融政策を調整する姿勢を示しました。このため金融市場では再度の利下げを織り込むなどやや突っ込んだ動きも見られます。目下、原油安については悪材料視されているものの、長期的には原材料価格などの低下に伴う製造業の後押しや、物価下押しに伴う消費喚起効果が見込まれ、やがて景気に対するプラスの効果を織り込む局面が来ると考えられます。いったん利下げを織り込んだことで、これ以上の悪材料が出にくく、カナダ・ドルの割安度が増していると考えています。

以上

カナダのGDP産業別比率(2013年)



※エネルギー関連産業は、「鉱業」に含まれます。

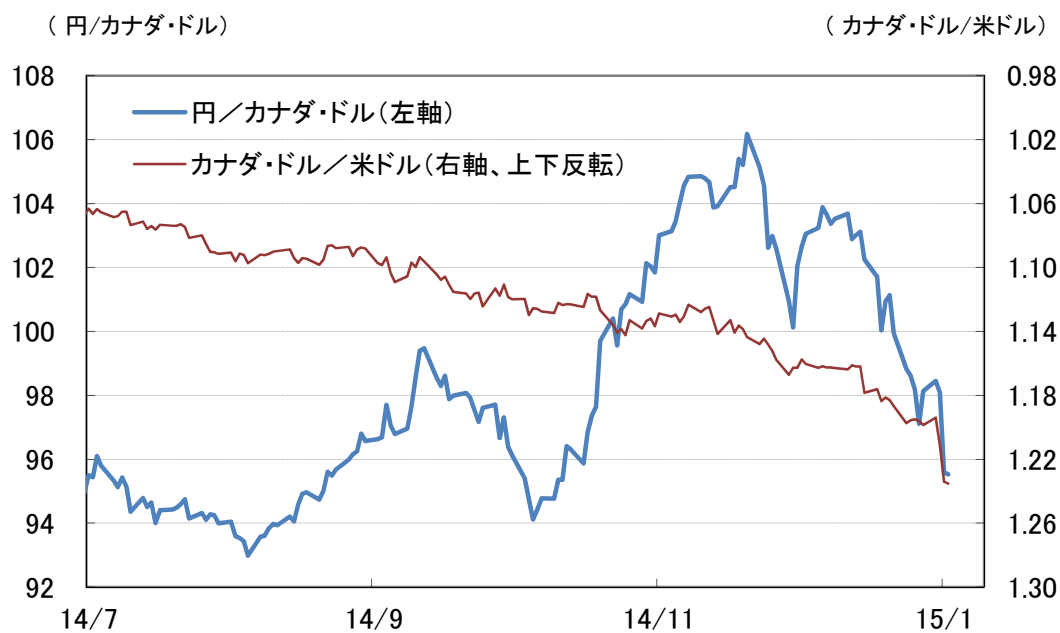
(出所:カナダ統計局)

(為替の推移については次頁をご覧ください。)

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

カナダ・ドルの為替推移

(2014年7月1日～2015年1月22日 東京時間午前10時)



(出所:ブルームバーグ)

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。